

# 星の夢百聞

第199号

発行日 2022年9月1日  
発行 株式会社 おいらーく  
札幌市東区東苗穂9条3丁目1-40  
発行人 星野 二三江

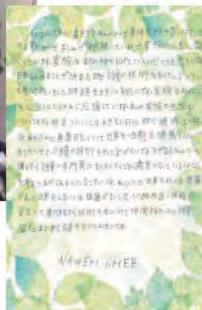
おいらーくの素敵な仲間達！

海外実習生 編



## グループホーム 夢

ノウエシーさん



ルイザーさん



6月からGH夢と一緒に働いている二人の家族は軍の攻撃から逃れるため、現在山に避難しています。毎日家族のことを心配しながらも笑顔で頑張っています。二人の目標は日本で介護福祉士を取得し、ミャンマーへ戻ったらミャンマーの国民のために介護施設長をすることです。家族は自分たちで決めた目標だから諦めずに頑張ってくいと送り出してくれました。楽しいことも辛いこともあるけれど、3年間頑張ります。

## うらら伏古

ティンザーヌエさん



入社し2か月が経ちました。期待と不安でいっぱいでしたが、少しずつ仕事も覚え、入居者様や職員さんとのコミュニケーションもでき楽しく過ごしています。言葉遣いや生活環境の違い等、まだまだ慣れない事が多いですが、精一杯頑張っていきたいと思っています。

ズリヤーナさん



職員さんの指導の下、日々勉強しながら働いています。入居者様には、顔を覚えてもらえて来ているので会話等する事が楽しいです。介助する際には、安全を心掛けて行っていきたいと思います。できる事を1つでも増やし、仕事をしていきたいです。

## せんり

ティン ミャットモーさん



せんりで働き始めて2ヶ月がたちました。先輩方の介助を学び自分の力をつけ、介護技術を活かしていきたい。介護の事をいっぱい学び、故郷へ戻った時に介護の事を広めたいです。

エーニェントケーさん



せんりで働き始めて2か月が経ちました。職場の方や利用者様とのコミュニケーションを発音良く、話していきたいです。早く先輩方に追いつけるように頑張りたいです。せっかく日本に来てみたので花火大会やお祭りに行ってみたいです。

恒例

# サマージャンボ宝くじ 大抽選会!

in てんやわんや東苗穂

さあ! 始まり  
ますよー!



当選

おめでとうございます!!

恒例の熱い夏のサマージャンボ宝くじの季節がやって参りました。今年ではてんやわんや東苗穂が会場となり、利用者様はもちろんのこと、職員も前日より会場の設営や飾り付けなどをし、楽しみにしていました。今回もズームにて、抽選会の様子が配信され、他の事業所でも、ドキドキとワクワクされていたはず。会場では、高橋副部長の挨拶のあと、抽選会が始まりました。利用者様の前には豪華賞品が飾っており、「当たるかな?」「あなたは何番?」と隣の利用者様と話するなどざわついていました。おいらーく賞から抽選し読み上げられると、会場では「あー! 当たったー!」「その番号じゃないよー」と一喜一憂されていました。その後次々と三等、二等と発表され、最後の一等の抽選です。半ば諦めかけている方や抽選券を握って祈っている方々です、ついに星野代表が抽選箱に手を入れ、高橋副部長が読み上げました。なんと会場のでんやわんや東苗穂の利用者様が当選されました。ご本人は最初気が付かず、ご自分だと分かれると驚きと喜びでいっぱい、ご本人曰く「私、昔からくじ運強いよね」と興奮気味に仰っていました。

コロナウイルス感染拡大など明るい話題が少ない中、この宝くじ抽選会のように、利用者様に幸せや生きがいを提供していただけるよう職員一同、頑張っていきたいと思えます。(恵本 英樹)

てんやわんや新道の

畑作り

春庭に桜が咲き始めた頃、畑作りを行いました。パークゴルフ場を作るために畑を縮小し東屋を置くことになった為に畑作りからの作業となりました。小石混じりの土作りは苦勞しました。コロナ禍で外出する機会が少ない中、少しでも季節感や花のエピソードを思い出して欲しいとの想いで作業していたので、畑が形になった事に自身感動しました。

ラベンダー、小菊、木いちご、山百合等、また名前も知らない花が想いに応えるように可憐に美しく咲いてくれた事にも感動し、想いは「ひとしお」。利用者さんと一緒にプランターにマリゴールド、スズラン、サルビヤなども植えました。

スタンプラリーの途中に見かけた利用者さんからは「スズランが珍しく綺麗ね」や、送迎車から降りた時に「やっぱり花があるといいね」と喜びの声を聞くと体にムチを打ったかいると嬉しく思いました。雑草予防の為に野菜も利用者さんと植えました。じゃがいも、枝豆、トマトを植え、食べられることを楽しみにされていました。

じゃがいも、枝豆はおやつに。トマトはピザの具として収穫しています。これから寒い冬がきます。半年目を楽しませて貰った花たちに感謝を込めて「ありがとう。来年もよろしく...」とそっと声をかけます。(上坂 弓子)



# コロナ禍での行事報告

## グループホーム夢

### 「リベンジ！縁日&盆踊り大会開催」

長かった…コロナ対応。8月7日、技能実習生も加わり、日本の行事の一つ、七夕まつりを開催！と思いきや、再びコロナの波が…入居者で陽性者は出なかったけれど、濃厚接触者ということで、再び余儀なく居室対応の日々が始まり、行事も延期。健康観察期間が終了後の入居者様の表情は再び活気が無くなり…よし!!コロナは嫌だけど、もう一度環境設定を見直し、やろう!!七夕さん!!ということで、七夕は終わってしまっただので、8月24日、縁日&盆踊りをユニットごとに開催しました!!

はじめは照れて浴衣や法被、甚平を着てくれなかった入居者様たち…ミャンマーの実習生が浴衣を着て、すごく喜び、入居者様一人ひとりに喜びを表現しているのを見て、少しずつみなさまの気持ちも前向きに。普段、腰を少し曲げて歩く方も浴衣を着ると自然と背筋が伸び。甚平を着た男性はタオルをねじり鉢巻き代りにし、職員のようにお手伝い。法被を着た方たちは踊りや歌に合わせて楽器を鳴らし…久しぶりに満面の笑顔が見られました!



習字の師範が書いた味のある看板

駄菓子屋の店番をしてくださいました!



2階の廊下を活用した縁日では、金魚すくいをして飲み物を選び、ほうびぎきに挑戦し、駄菓子をゲット!焼きそばと焼き鳥コーナーに寄り、夕食になる焼きそばを選び、ご自分で紅シヨウガと青のりをトッピング。焼き鳥はホットプレートの中から食べられる本数をご自分で取り、パックに入れました。普段、なかなかレクリエーションや体操で腕を伸ばさない方も、今日は別人。腕を伸ばし、ほうびぎもジュースも食べ物も、しっかりと握りしめていました。両ユニット合同では実施できませんでしたが、ひとりひとりの笑顔が眩しく、携わった職員からは「来年はこうしよう」と既に来年の企画が始まっています。2023年もみんなで楽しめよう!」(中島 絢子)



# コロナ禍での行事報告

## えくぼ元町

### 「花火大会開催！」

夏といえば、8月といえば…そうです！花火です！！えくぼ元町では夏を感じて頂く為に『花火大会』を行いました☆

近頃は花火大会も中止等々あり、花火を見る機会も少なかった事や実際に花火を身近で見ると季節を感じて頂きたいと思い、実施致しました。

事前に入居者様に参加の有無を確認したり、楽しんで頂けるように花火の調達にも職員が奔走致しました。

8月6日当日、夕食後に外へ出て花火を行いました。手持ち花火や打ち上げ花火を近くで見た入居者様は自然と笑顔になっていました。「久しぶりに花火をみて昔を思い出した」や「花火の匂いを久々に嗅いだよ」と口々に職員へ話されていました。30分程度ではありましたが、参加された入居者様は満足する事が出来たんじゃないかと思えます。

昨今コロナウイルスの関係もあり、なかなか思うようにレクリエーションを行う事が出来ませんでした。今年も少しでも楽しんで頂けるよう今年は感染面に留意しながらではありますが少しづつ実施して行きたいと思えます。(山本亮太)



花火のにおいは夏を感じるね～！



職員も一緒に楽しみました♪

### 研修報告！

## ダイジョナルセラピー 研修



室内装飾が上手な南さん！



おいらーくに入社する遥か前、ヘルパー2級を取得するために数社の介護事業所で1日体験というものがありました。

そこで、一つの事業所が利用者さんの誕生日に「あなたの願いを1つ叶えます」という催しがあることを知り、とても画期的で素晴らしい取り組みをされていると感激しました。

このDT研修は、その時の取り組み以上のもので、今、この講義を受けさせてもらい大変感謝し、これからの介護人生の糧にしていきたいと思っています。(南 俊也)

# コロナ禍での行事報告

## CoCo 東苗穂

### 「ドタバタ!? スイカ割り大会!」

CoCo 東苗穂ではコロナ禍でなかなか外出出来ず、不便されている入居者様と夏らしいことが出来ないかと、思い、8月23日に施設の中でスイカ割りを行いました。当日は松田部長にもお願いし、昼食はそうめんとなり寿司を提供しました。皆さん「美味しかったよ」と喜ばれ、昼から何があるのかとドキドキ?ワクワク?されていました。2階を会場とし、入居者様を誘導。テーブルには大きなスイカとスイカに見せかけたサッカーボールのビーチボールが…。まずは見本にと当日来設されていたケアマネ様をお願いし見本で打ってもらいました。目隠しをし、5周ぐるぐると回って棒を持ちサッカーボールのビーチボールお目当てにみんなです「右!右!右」と掛け声を合わせて誘導。そこでビーチボールから若干外れましたが、命中!!さあここから本番のスイカを用意し、入居者様に当ててもらいましょう。みんなの掛け声で「このヤロウめ!!こんちくしようめ!!」で思い切り当てますが、なかなかスイカ割れませんね!!ここで「じゃ俺が割る」と気合十分な松田部長が登場です。目隠しし5周回り目が回ったところでさあスイカの所まで直進です。スイカを目の前に「この野郎」と野球バットを振り、割れたのはスイカではなく、な、な、なんとスイカ割で買ったばかりの野球バットが二つに割れました。

その後、割ろうと必死ではありましたが、結局スイカにヒビが入っただけで終了となりました。今回のスイカ割りは笑顔あり、笑いに溢れた1日となりました。最後は入居者様にスイカを召し上がって頂き、「甘い」「美味しいわ」「スイカ割り楽しかった」など話されていました。まだまだ日中は暑い日が続きますが、入居者様と一緒にまだまだ続く暑い夏を乗り切って行きたいと思います。(北川美穂)



振りかぶって…  
**えいやっ!**



夏といったらやっぱりスイカだね~!





# なべっちゃんの

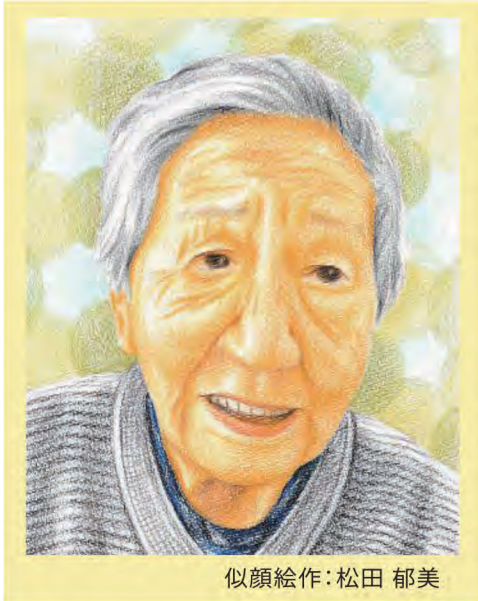
4コマ

# 介護日記

No.15



# 人間万事塞翁が馬



似顔絵作: 松田 郁美

Nさんは大正12年11月、礼文島の香深村にて誕生しました。当時は珍しくない、6男1女の7人兄妹の3番目として生まれていきます。12歳まで礼文島で過ごし、その後、母の老家である、十勝の芽室町で生活されます。実家の食堂のお手伝いをしながら、渡辺裁縫女学校（現在の帯広北高校）へ通い、裁縫の技術を学んでいきます。在学中は芽室から帯広までの道のりを電車で片道1時間半かけ、寒い冬も暑い夏も4年間1日も休まず通いました。

卒業を間近に控え、寒風吹きすさぶある日の朝、Nさんは一人職員室へ呼ばれました。「私何か悪いことしたかしら…」不安で胸が張り裂けそうになりながらも職員室へ向かうと、「Nさん、4年間よく頑張りましたね」校長先生から心からの労いのお言葉。そして4年間の努力が結実した瞬間。嬉しさとほっとした気持ちの感情が交錯します。頬を流れ落ちる大粒の輝く涙はNさんが美しく咲かせた努力の華。それを卒業生で4人だけの【特別皆勤賞】という形で得ることができたのだから…。Nさんに問いました。「家を手伝いながら毎日通うの大変だったでしょう？」

Nさん「そんなことないよ、好きでやっているんだから大変だなんて思ったことないよ。毎日楽しくて仕方なかったよ。ただ、手伝いがあるからすぐに帰らななきゃならなかったのは大変だったかな(笑)」当時まだ十代だった少女の瞳に映った景色は80年たった今でも楽しかった記憶と共に心の中にいきづいていきます。

家業の食堂はお昼時は毎日満席。1番人気だったのは鰹だしをきかせた塩ラーメン。数多くいた常連客からは「いつもの！」で伝わっていました。調理はNさんの母親が担当。Nさんは主に出勤担当。家族の中でも「1番の力持ちだった。」というNさん。多い時は片手に6人分、両手で計12人分を1度に出前したこともありました。母からはラーメン作りを教わっていた時期もありましたが、母と同じ味を出すことはできませんでした。母や常連のお客さんはNさんが食堂を継いでくれることを願っていました。しかし、Nさんの心は決まっていました。「裁縫がやりたいから」、そして「母が何十年とかけて作り上げた味と同じ物を作るなんて口が裂けても言えなかった」。当時の決断に1ミリの後悔もありません。「あなたも自分の好きなことを続けなさい」と私に語りかけてくれます。

優しい口調の奥にある強い信念と熱い情熱は時を超えても色あせることはありません。結婚後は裁縫を続けながら子供を育てました。「もう1度母さんのラーメンが食べたいけどねえ…」と笑うNさん。この先もたくさんの想い出をつくり、たくさんのお話しを聞かせてくれることでしょう。(鈴木 健士)

## 朝礼でのステキなお話 ~利用者様に声をかけられて~

7月末より、てんやわんや本町へ支援に行くことになりました。初日は利用者様の名前も顔もわからず、ただフロア内をウロウロとしているだけだったの、利用者様からは中年の新人職員に見えた事でしょう。そんな私をニコニコとじっと見ている利用者様がいました。私も何処かでお見受けしたことがある方だなど思っていたところに、その方から声を掛けられました。「こんにちは。以前、デイサービスの旅行に一緒に行きましたよね?!」の問いかけに、一瞬にして記憶がよみがえりました。それは、三年前においらーく主催の旅行に同行させていただいた時に一緒に参加したSさんでした。その時、各事業所から2〜3名参加して、高橋副部長が運転するおいらーく号に乗って登別温泉へ行きました。1日目の昼食は支笏湖でヒメマス料理、宿泊は第一滝本新館に、到着後はゆつくりと温泉に浸り裸のお付き合いをさせて頂きました。夕食は豪華御膳と冷えたビール、2日目はクマ牧場に行き帰りがけに回転寿司で普段食べられないネタの御寿司を鰹腹食べて帰ってきました。そのことを思い出しながらSさんとコロナが落ち着いたらまた行きたいですね、と話が盛り上がり、いつしか私の緊張もほぐれました。Sさんありがとうございます。

感謝 Sさんに



おいらーく

# 8月行事内容と9月行事予定

## 令和4年9月行事予定

令和4年 9月行事予定

せんり

- 敬老会
- お誕生会

うらら伏古

- 15日 敬老会

えくぼ東雁来&  
ココ東雁来式番館

- とくし丸
- 金さん銀さん
- 敬老会

えくぼ元町&  
ココ元町

- 20日 敬老会

えくぼ元町式番館

- 敬老会

銭函お散歩カフェ

- 4日・18日 趣味の会
- 毎週 将棋教室

ココ輝楽

- 敬老会
- 誕生会
- 訪問理容
- 移動スーパー(とくし丸)

## 令和4年8月行事内容とイベント風景

令和4年 8月行事内容とイベント風景

- 夏祭りのご様子



- 18・25日 似顔絵クイズ大会



- とくし丸(移動販売)
- 金さん銀さん
- ひまわり畑散歩



- 花火大会



- 20日 夏祭り(えくぼ) 花火大会(サテライトえくぼ)



- 7日・28日 趣味の会、将棋教室



- 韓国風かき氷(キッチンカー) ○ 焼肉パーティ・誕生会



## 経営方針

『高齢者も障害者も住み慣れた地域で、安心して暮らせる地域づくり』を目指し、つねに『ご利用者様の立場にたった総合的な介護・福祉企業』のあるべき姿を探究し続けるオンリーワン企業を目指します。